

金沢学院 念願の初勝利

全日本大学野球に3度目出場

1回戦 大阪学院突き放す

神宮球場
2回戦 中央学院に延長で涙

第59回全日本大学野球選手権に出場を果たした金沢学院大学チームは大会初日の6月8日、明治神宮球場で関西六大学野球連盟の大阪学院大との1回戦に臨み、9-5で破りました。金沢学院大は3年ぶり3度目の出場で、秋の明治神宮大会を含め、全国大会で初勝利を挙げました。翌9日に行われた2回戦では、千葉県大学野球連盟の中央学院大に延長十一回、4-5でサヨナラ負けを喫し、惜しくも8強入りを逃しました。スタンドでは教職員、学生、選手の父母ら約200人が声援を送りました。10日、金沢学院大に戻った選手らを教職員が迎え、槻木裕学長と上山夏樹副理事長が健闘をたたえました。

1回戦四回表、先制のホームを踏んだ福田と2点目の秋山 神宮球場



2回戦延長十回表、出塁する山本



声をかからして声援を送る応援団



ベンチ前で作戦の指示を仰ぐナイン



国財政の現状を知ろう
藪田財務局長が特別講義

金沢学院大学経営情報学部の特別講義が6月3日、4号館講堂で北陸財務局の藪田俊和局長 写真左に講師を迎えて行われました。藪田局長は「我が国財政の現状と課題」と題して講義し、社会保障関係費、地方交付税が増加傾向にあることを指摘したうえで、「国の予算の現状を知り、将来

を担う皆さんがしっかりと考えることが大切だ」と強調しました。

藪田局長は今年度の国予算で公共事業関係費が前年度比約1兆2900億円減少し、一方、子ども手当などで社会保障関係費が約2兆4300億円増えたことを説明し、不足分は特別会計からの繰り入れで補ったとしました。

さらに改正貸金業法の施行に触れ、「多重債務に陥った知人がいれば、財務局や県、市の窓口にご相談に訪れるよう助言してほしい」と述べました。



1回戦完投の荒木



2回戦力投の護摩堂



健闘をたたえる槻木学長
 金沢学院大